はままつ

図書館だより

9月号
vol.211
令和6年8月23日
浜松市立図書館

中央図書館郷土研究講座

～浜名高等学校史学部研究報告会～

特集

中央図書館郷土研究講座
～浜名高等学校史学部研究報告会～

浜名高等学校史学部は１９５４年（昭和２９年）に創部され、本年７０年目を迎えました。長い間、地域の歴史を調査研究し、その成果は部誌『伎倍（きべ）』として発刊されています。

史学部で調査研究を続けていた「静岡県における更生保護事業のはじまり」を、本年岐阜県で開催された、第４８回全国高等学校総合文化祭（総文祭）郷土研究部門で静岡県代表として発表することになりました。そして、郷土研究部門（公共・政策部門）優秀賞（２位）で表彰されました。

総文祭での発表に先駆けて、６月２９日（土）に中央図書館で郷土研究講座として、今まで研究した内容を含めた３つの研究報告を行いました。

ここでは、中央図書館での研究報告会の内容を紹介いたします。

「鹿島の水神伝説」

なぜ『水神様が病気を担保にお金を貸すのか』について、疑問を持ったことをきっかけに、天竜区二俣町鹿島に伝わる金貸水神（かねかしすいじん）伝説についての調査を始めました。

水神様を祀る金貸水神社の祠（ほこら）は、鹿島の椎ヶ脇（しいがわき）神社の境内社として、下に天竜川が流れる崖の上にあります。地元の方への聴き取り、神社の資料や筏問屋田代家（いかだどんやたしろけ）の資料をまとめた結果、５０年ほど前までこの地区で行われていた祇園祭（ぎおんまつり）に金貸水神伝説が大きくかかわっていたことがわかりました。

「静岡県における更生保護事業のはじまり ―金原明善と川村矯一郎に学ぶ―」

令和３年度に金原明善研究を進める中で、金原明善が日本初の民間更生保護施設である『勧善会（かんぜんかい）』を設立したことに興味を持ち研究を始めました。

明善は、川村矯一郎と出会い、矯一郎から“利己的行動のみを取るのではなく、利他的行動も取れるように考えることが大切である”と学び、更生保護事業を実現するため協力することとなりました。こうして、のちに出獄者の一時収容、自立支援、就職の斡旋、共同作業を行う施設となる『静岡勧善会』を設立することとなります。そして、静岡から全国へ事業が広がっていったことがわかりました。

「日本における更生保護事業の役割と課題 ―川村矯一郎と金原明善が残した功績から考察― 」

部員の月原実咲さんは、独自に更生保護事業の探求活動を行うことを決め、川村矯一郎について、より詳しく知りたいことと、更生保護事業の存在を多くの人に広めたいという理由で、川村矯一郎の故郷の大分県中津市でフィールドワーク（現地調査）を実施しました。

フィールドワークを通して、更生保護事業の重要性や、活動に携わっている方々の思いを発信することの重要性を感じ、これからも引き続きフィールドワークを行い、現役で更生保護事業に取り組んでいる方々の声を聴く予定です。

◎金原明善（きんぱらめいぜん） 1832生～1923没

長上郡安間村（現中央区安間町）の大地主の家に生まれた。家の財産を投じて天竜川治水・護岸工事を独力で推進した。
のちに、養蚕・牧畜・植林奨励・銀行創設などの実業面で活躍した。また、社会事業として出獄人保護事業に力を注いだ。
生涯をかけた治水・植林事業は『金原治水財団』が、出獄人保護事業は『財団法人静岡県勧善会』が引き継いだ。

◎川村矯一郎（かわむらきょういちろう） 1852生～1890没

中津藩（大分県中津市）の下級武士の家に生まれた。
明治維新後に自由民権運動に携わり、政治犯として静岡監獄に入獄。そこで金原明善と出会い、監獄の環境改善や出獄者の保護を訴えた。明善が組織した出獄人保護事業を目的とした勧善会を、社団法人に改組し事業に着手したが、肺炎にかかり事業の発展を見ることなく逝去した。

I ♥ 辞書

20年ぶりとなる新しい紙幣が7月に発行されました。
新紙幣、もうお手元に届きましたか？
貨幣の歴史や種類などを調べる時に参考となる、
調査支援室の資料をご紹介します。

（左から）

- 「世界アンティークコイン大事典」 セノバ出版 2021年
  ローマ時代のコイン等、実物大のカラー写真を多数掲載。
  各国の貨幣制度や貨幣単位の解説も。
- 「日本貨幣カタログ2024」 日本貨幣商協同組合 2024年
  記念コインや古金銀など、あらゆる日本の貨幣を解説。
  新紙幣も収録！
- 「日本通貨変遷図鑑」 日本貨幣史料協会 1979年
- 「全国弐百弐拾藩藩札図鑑」 島津書房 2006年
  江戸中期以降流通した藩札を原色原寸大で収録。
  浜松藩はp97に。
- 「旧満洲國貨幣図鑑」 彩流社 2011年

図書館からのお知らせ

読み聞かせボランティア養成講座

浜松市内の図書館で、子ども向きの読み聞かせボランティアとして活動してくださる方の養成講座を実施します。※説明会終了後、会場で講座申込を受付します

【説明会】
令和６年９月10日（火）
10時～11時30分
◎中央図書館へ
電話・Web・直接来館にて受付

詳しくはこちらから（図書館HP）

点訳ボランティア養成講座

視覚障がい者等を対象とした読書支援を行っている「声のライブラリー」で提供する点字図書を作るための知識・技術を学ぶものです。
※説明会終了後、会場で講座申込を受付します

【説明会】
令和６年９月４日（水）
13時30分～
◎中央図書館へ電話で申込

詳しくはこちらから（図書館HP）

はままつ図書館だより No.211（2024年8月23日発行）

浜松市立中央図書館
浜松市中央区松城町214番地の21
☎ 053−456−0234　FAX 053−453−2324
✉ chuo@city.hamamatsu.shizuoka.jp
ホームページ https://www.lib-city-hamamatsu.jp/

図書館だより
バックナンバー